

教育委員会の点検・評価報告書

(令和4年4月～令和5年3月対象)

令和5年9月

館山市教育委員会

点検・評価報告書

1 点検・評価の期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 点検・評価の方法

第4期館山市教育基本計画（館山市教育大綱）（令和3年度～令和7年度）の事務事業の進捗状況等をもとに点検・評価を行いました。

また、館山市総合計画審議会において、意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

3 点検・評価の結果

別紙のとおり

4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

子育て

基本目標 1

互いに助け合い 誰もが健康で
いきいきと暮らせるまち

第 1 節 子育て環境の充実



■ 基本方針

- 多様な家族形態や保育ニーズに、きめ細かい対応ができる子育て支援サービスの充実を図ります。
- 切れ目のない子育て支援を強化し、子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

(1) 子育てしやすい環境づくりの推進

計画事業名	事業内容	担当課
子育て支援事業	保護者が必要とする施設や事業等の情報提供とともに、病児・病後児保育事業を実施し、子育て支援を推進します。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none">・利用者支援員の複数配置（2名体制）し、こども課窓口や元気な広場にて子育て支援事業等の利用に関し、寄り添い方の支援を実施しました。・病児・病後児保育事業を委託により実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○利用者支援員により、子育てのサービスが円滑に利用できるような身近な場所で、子育て支援の情報提供及び必要に応じた相談ができました。 (対応件数 1,204 件)</p> <p>▲子どもの成長とともに相談者は変わるため、利用者支援員による相談窓口に関し定期的なPRを行い、周知に努める必要があります。</p> <p>○子どもが病気等で自宅での看護ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児保育事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を控える傾向にありました。</p>	

<p>重点 保育園・こども園における保育サービスの充実</p>	<p>多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や土曜・休日保育、預かり保育の充実を図るとともに、私立保育園に対する運営支援を行います。また、在宅乳幼児等の保護者の子育て支援として「一時預かり事業」の充実を図ります。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定を行いました。 ・北条幼稚園及び那古幼稚園において、預かり保育を実施しています。 ・市内私立保育園4園及び私立幼稚園1園に対し、補助金を交付し運営費等の支援を行いました。 	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定により、事業を進捗することができました。</p> <p>○那古幼稚園において、新たに預かり保育を開始し、保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>○私立保育園や私立幼稚園に対し、補助金等を交付したことにより、教育・保育サービスの維持及び拡大を図ることができました。</p> <p>▲多様化する保育ニーズへの対応及び検討が必要です。</p> <p>▲特別な支援が必要な園児の増加に伴う保育士等の負担軽減が必要です。</p> <p>▲就業する保育士の不足により、産休等に伴う代替保育士の確保が困難な状況となっています。</p>	

<p>幼児教育の充実</p>	<p>北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。また、短時間児について、公立こども園での3歳からの受け入れについて検討します。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定を行いました。 ・私立幼稚園及び認可外保育施設に通う保護者に対しては利用料の支給により実質無償化し、負担を軽減しました。 	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定により、事業を進捗することができました。</p> <p>○預かり保育の拡充により、保育の必要な子どもの受け皿が増えました。</p> <p>▲共働き世帯の増加等の影響により保育所等のニーズが高まり、幼稚園への就園率が低く、規模の小さな幼稚園では集団教育・保育の提供が困難となっています。</p> <p>▲支援の必要な園児が増えているため、専門職員や施設整備が必要となっています。</p>	

<p>重点 「元気な広場」運営事業</p>	<p>子育て親子や世代間の交流、子育てに関する相談及び情報提供を通じた不安解消を図るため、子育て支援拠点「元気な広場」の運営及び「出張子育てひろば」の実施を推進します。また、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育て支援ネットワークの拡充に努めます。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>元気な広場及びファミリー・サポート・センター事業の運営は、指定管理により実施しています。新型コロナウイルス感染症予防対策として、入場数の制限や窓口での検温、遊具の定期的な消毒等を徹底しながら、親子が安心して利用できる癒しの空間や子育ての情報を入手できる講座及び育児相談等を提供しました。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○コロナ禍においても親子が安心して利用できる癒しの空間の他、子育ての情報を入手できる講座や育児相談の企画を提供することにより、子育ての不安の軽減が図られています。</p> <p>元気な広場利用者数 延べ 16,920人 出張子育て広場利用者数（船形、九重、房南他）延べ 221人 ファミリー・サポート・センター事業活動件数 延べ 96件</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を控える傾向にありました。 ▲ファミリー・サポート・センターの円滑な活動のため、会員登録の拡大（特に援助会員）が必要です。</p>	

<p>学童クラブ運営事業</p>	<p>小学校下校後に保護者が家庭にいない留守家庭児童の健全育成と安全確保のため、公設化等による安定的で質の高い学童クラブの運営に努めます。</p>	<p>こども課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策として手洗いや使用教室の消毒などを徹底し、クラスターの発生なく学童を開所しました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を進めるとともに、登降所システムの導入によるICT化の推進や自動水栓化工事、空調機改修工事を実施し、施設整備や環境の改善を行いました。 	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次世代を担う児童の健全な育成の支援、仕事と子育ての両立を行う保護者への支援に繋がりました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策により、クラスターの発生なく学童運営を行いました。</p> <p>▲コロナ禍においても利用希望者が増えています。低学年だけでなく、高学年のニーズも高まっています。</p> <p>▲安定的な公設学童クラブ運営を図るため、支援員の人材確保が課題です。</p>	

(2) 子育て環境の整備

計画事業名	事業内容	担当課
児童虐待防止ネットワーク事業	要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や虐待を未然に防止するためのネットワーク体制を強化します。	こども課
【実施状況】	要保護児童対策地域協議会実務者会議を年6回、そのほか状況に応じて、必要な関係機関のみで情報共有や対応策を検討する個別支援会議を随時開催し、児童虐待の未然防止に努めました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○ネットワーク体制が構築され、関係機関の見守りの強化が図られたことにより、重大な事故を未然に防止することができました。 ▲家庭の抱える課題が複雑化しており、長期的に家庭に関わる必要が出てきており、社会福祉、高齢者福祉、障害福祉など他の部門との更なる連携についても検討が必要です。	

保育園・幼稚園・こども園・学童クラブの整備及び安全対策の充実	保育・教育環境の向上のため、老朽化した施設の整備改修を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。また、園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や「新しい生活様式」に対応した安全・安心な体制を強化します。	こども課 建築施設課
【実施状況】	・北条幼稚園の認定こども園への移行について、公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定を行いました。 ・建物の改修や空調機の更新・増設により園児の保育環境の改善を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○公私連携幼保連携型認定こども園の設置に向けて、運営法人の選定により、事業を進捗することができました。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い水栓の自動水栓化工事の実施、及び学童クラブに登降所システムの導入によりICT化の推進を図りました。 ○元気な広場にてふれあいサロンの床改修工事、排水原水道設備改修工事を実施しました。 ▲老朽化した施設の将来的な整備や子どもの人数の減少を考慮した施設の適正規模及び運営形態について検討が必要です。	

教育・文化

基本目標 2

地域への誇りと愛着をもち
心豊かな人材が育つまち



第 1 節 学校教育の充実

■ 基本方針

- 「生きる力」の育成に向け、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育てる教育活動を推進します。
- 地域資源・地域人材を活用した特色のある教育を推進します。
- 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる教育環境の整備・充実に努めます。

(1) 「生きる力」を育成する教育の推進

計画事業名	事業内容	担当課
重点 「生きる力」を育成する教育の推進	学力向上プロジェクト委員会の充実や学力向上推進コーディネーターの有効活用などにより、小中一貫した教育活動を推進します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	・中学校区ごとに小中学校が連携し、学力向上プロジェクト委員会を設置し「確かな学力」を育むための研究を実施するとともに、情報交換を行う機会を設けました。 ・一中、館山中学校区に学力向上推進コーディネーターを配置しました。また、小学校の英語が教科に加わったことから、全小学校に英語学力向上推進コーディネーターを配置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○学力向上プロジェクト委員会や学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まりました。 ▲学校教育における総合的な課題として、教職員の負担軽減のための方策が挙げられます。	

福祉・環境・キャリア教育の推進	学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている児童生徒の職場体験は中止となりました。児童生徒の福祉の心を育てる事業として、高齢者疑似体験等を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	▲変化の激しい社会、多様化の進む社会に対応したキャリア教育の推進が重要となっています。新たな分野の職業に触れる機会を充実させていくことも必要だと考えています。	

国際理解教育の推進	小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手（ALT）を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	民間委託による外国語指導講師（ALT）を小学校に3名、中学校に2名配置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○授業でネイティブな発音を聞くことができ、またALTの出身国の文化を知ることができました。小中英語主任対象の研修会を実施することで、指導力の向上を図ることができました。 ▲小学校では令和2年度から3・4年生に「外国語活動」が導入、5・6年生の「外国語」が教科化されましたが、それに伴う教員の授業力等の向上が課題となっています。	

情報（モラル）教育の推進	高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・国の進めるGIGAスクール構想に伴い、導入した通信環境や、一人一台タブレット端末・大型モニターなどの活用が各学校の実態や発達段階に応じて進められています。それらを活用する中で、情報知識や技術の習得を推進し、情報活用能力を育成しています。 ・情報モラルについてICT支援員と連携した校内研修を行うとともに、スマートフォンやインターネットなどの活用方法に関する指導を行っています。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童生徒の情報機器等の利活用を通して、情報活用能力が向上しています。 ▲国の進めるGIGAスクール構想に伴い、令和3年度から本格的に導入された通信環境や一人一台タブレット端末、大型モニターなど、これまで以上に教職員のICT機器等を活用した指導技術を高める手立てが必要です。	

<p>学校給食事業</p>	<p>安全かつ安定した学校給食の提供を図るため、維持管理及び運営を一体とした事業を実施します。また、栄養や食習慣に関する正しい知識の習得を指導し、児童生徒の健やかな心身の育成を図るとともに、学校給食にできる限り館山市産及び千葉県産の食材を使用することにより、食育や地産地消を推進します。</p>	<p>教育総務課(学校給食センター)</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>施設の維持管理・運営をPFI事業者が一体的に実施しています。また、食材については、地場産物が揃うときは優先して学校給食センターに納入するよう納入業者に依頼しています。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○PFI事業者の専門的なノウハウにより効率的で効果的な施設の維持管理及び安全かつ安定した学校給食の提供が実施されました。また、食材において学校給食に提供する米は全て館山産を使用しています。6月と11月に「千産千消費デー献立の日」を設け、その他の食材においても館山市産及び千葉県産の使用に努めています。</p> <p>▲地産地消や食育の観点から学校給食にはなるべく地場産物を利用したいところですが、一日当たりの給食提供数が多く大量の食材が必要なため、必要量の地場産物が揃う日が少ないのが実情です。今後も納入業者に地場産物の確保を依頼するなど、地産地消の推進に努めます。</p>	

<p>小・中学校体育振興の推進</p>	<p>陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体力の向上を図ります。</p>	<p>教育総務課(教育推進室)</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>児童生徒の体育振興を目的として、館山市小中学校体育振興会及び各中学校の部活動に対して補助を行っています。小学校の体操教室、陸上競技大会の開催、中学校の総合体育大会、新人体育大会など各種大会等への参加が、主な活動となっています。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○各種大会への参加を通じて、中学生の体力、競技力の向上が図られています。</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校の体操教室及び陸上競技大会が中止となりました。</p>	

<p>小児生活習慣病予防検診事業</p>	<p>近年、増加傾向にある生活習慣病の早期発見や適切な指導のため、児童生徒に対する検診を実施し、疾病の予防を図ります。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>小学校5年生及び中学校2年生を対象として検診を実施、有所見者に対して説明会を開催し、個別指導を行いました。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○有所見者の個別指導を行うことにより、生活習慣改善に向けた具体的な取組を伝えることができました。</p>	

特別支援教育体制の推進	特別な支援を必要とする児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活支援等を行うため、小・中学校に特別支援教育学習支援員を配置しました。 ・特別な支援を要する幼児が、円滑に小学校生活に移行できるよう、各園において保護者との教育相談を行いました。 ・幼稚園・保育園・こども園、小・中学校に特別支援教育対策チーム員による巡回相談を実施するとともに、医療機関をはじめ、庁内関係課、民間事業者との連携を強化しています。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○特別支援教育学習支援員の配置により、児童生徒の学習等の支援だけでなく、教職員指導補助も行うことで、負担軽減に繋がっています。</p> <p>○関係機関との連携を強化することにより、継続的、多角的に児童生徒及び保護者の支援を行うことができました。</p> <p>▲支援を必要とする児童生徒が増加しているため、園内、校内の相談体制の充実、支援員の増員が必要です。また、特別支援教育についての教職員の理解や指導力等の向上が課題となっています。</p>	

教育相談体制の充実	スクールカウンセラーやいじめ相談室などを積極的に周知し、児童生徒の様々な悩み（学力や人間関係、いじめ等）に対する教育相談体制の充実を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターを運営し、不登校児童生徒の支援を行いました。 ・スクールカウンセラーが全校に配置され、小中学校の教育相談体制の充実を図るとともに、生徒指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。 ・各校で教育相談日を設け、子供の悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。 ・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。 ・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について情報の共有を図りました。 ・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実施し、その結果をもとに個別指導にあたりました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○教育支援センターが設置されていることで、児童生徒に学習支援をすることができました。</p> <p>○スクールカウンセラーとの教育相談を位置づけたことで、児童生徒一人一人の声を詳細に聴くことができました。</p> <p>○心理テストの結果を分析することで、児童生徒の心情や学級の状態を客観的に捉えることができ、指導に活かすことができました。</p>	

	▲長欠、不登校児童生徒が増加傾向にあります。一人一人の実態に合わせた支援をさらに充実していく必要があります。
--	--

児童生徒の安全対策の充実	災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校において教職員の危機管理意識の向上を図っています。 ・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行い、学校間で情報を共有しました。 ・通学路危険箇所について、館山市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組んでいます。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○交通安全だけでなく、防災、防犯の視点からも通学路を点検することで、通学路の安全対策が進んでいます。</p> <p>▲通学路の安全対策については、学校職員だけでは対応が困難なことから、保護者、地域住民、関係機関等との更なる連携が必要です。</p>	

教職員研修の充実	教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	年間を通じて、職務別研修、事務分掌・教科別研修を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○生徒指導上の諸課題や学級経営、また、特別支援教育、外国語教育、ICT教育、学校事務に関する知識が広まりました。</p> <p>▲研修機会の増加による教職員の業務削減とのバランスが課題です。</p>	

(2) 教育活動の充実

計画事業名	事業内容	担当課
地域資源・地域人材を活用した特色ある学校づくり	歴史副読本『さとみ物語』等を活用した授業を展開するなど、地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生、中学校2年生が歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施しました。 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○歴史副読本「さとみ物語」を活用した学習により、館山という地域を再発見し、地域への誇りを高めることができました。</p> <p>○社会科、生活科、総合的な学習の時間では、地域への理解や地域の良さを学ぶ機会になり、地域への愛着を育むことができました。</p> <p>▲地域人材の活用について、協力してくれる人材の高齢化があり、新たな人材を確保する必要があります。</p>	

芸術・文化による豊かな心の育成	児童生徒へ優れた芸術・文化に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市文化祭「子ども音楽会」を開催しました。 ・国、県、各種団体の文化芸術に関する事業を小中学校に紹介し、各校の状況に応じて活用しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○音楽祭や学芸展などの文化活動を通じて、児童生徒の豊かな心の育成につながっています。</p> <p>◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。</p>	

(3) 就学・通学への支援

計画事業名	事業内容	担当課
就学費援助事業	経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。	教育総務課
【実施状況】	<p>要保護及び準要保護児童生徒に対し、就学援助費（学用品費、校外活動費、学校給食費等）を支給しました。</p> <p>※令和4年度実績</p> <p>3月末現在認定者数</p> <p>【要保護】（小）0名、（中）2名</p> <p>【準要保護】（小）148名、（中）93名</p> <p>支給額（小）10,600,082円（中）10,790,327円</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○経済的理由で就学が困難な児童生徒への援助により、保護者負担が軽減され、教育の機会均等を保つことに資しています。</p> <p>▲要保護・準要保護児童生徒にかかる援助費が増加傾向にあり、財源の確保が課題となっています。</p>	

ふるさと創生奨学資金貸付事業	経済的な理由により、義務教育終了後の修学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。	教育総務課
【実施状況】	<p>経済的理由で高校・大学等に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するための援助を行っています。</p> <p>※令和4年度実績</p> <p>3月末現在貸付者 13名</p> <p>3月末現在返還者 42名</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>▲経済的支援が重要となっている一方、奨学資金の返還が滞っている者への督促が課題となっています。</p>	

重点 遠距離通学支援事業	遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスの運行等により通学支援を行います。	教育総務課
【実施状況】	遠距離通学費の無償化と共に、スクールバスを運行し、児童生徒の安全な通学に資しています。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られています。 ○スクールバスを運行することにより、通学時の児童生徒が、安全に通学できています。	

(4) 教育環境の整備・充実

計画事業名	事業内容	担当課
重点 学校施設の整備充実	学校施設の耐震化を図るとともに、防音対策など、学習環境向上のための施設整備や老朽化した学校施設の改修を行います。	建築施設課 教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・那古小学校受水槽更新工事が完了しました。 ・第一中学校校舎東棟トイレ改修工事が完了しました。 ・館山中学校新校舎及び武道場の新築工事が着工しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○那古小学校の老朽化した受水槽を更新し、児童の衛生環境が確保されました。 ○第一中学校校舎東棟トイレ改修工事が完了し、生徒の衛生環境が改善されました。 ○館山中学校新校舎が防音対策施設として新築工事を着工しました。	

学校用教材備品の整備	新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。	教育総務課
【実施状況】	学校備品の更新や必要な教材を購入し、教育環境の向上を図りました。 ※令和4年度実績 小学校 4,178,279 円 中学校 1,796,542 円	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○令和4年度は、概ね各校要望どおりの備品を整備することができました。 ▲厳しい財政状況の中、計画的な整備が困難となっています。	

重点 少子化に対応した教育環境の向上	『館山市学校再編基本指針』に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編を検討します。	教育総務課(教育推進室)
【実施状況】	令和4年3月「将来に向けた学校のあり方に対する基本指針」策定後、広報誌への特集記事の掲載や10小学校区単位での説明会を実施し、同基本指針の周知を図りました。 その後、小学校区単位にて保護者や地域住民を中心とした、「学校のあり方を考える会」を立ち上げ、地区ごとに学校再編に向けた保護者意見の集約化（子供達にとって望ましい学校規模について）を、行ってきたところです。	

	令和5年度においては、市の附属機関である「学校再編調査検討委員会」において、具体的な学校再編計画（統合内容・時期等）の素案を策定し、それら素案に対して各地区の「学校のあり方を考える会」との意見交換を実施し、令和6年度中には「学校再編計画」を策定する予定です。
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○実施状況に記載のとおり、各地区において、学校再編への理解（必要性等）が進み、大多数の地区において保護者意見の集約化が図られた。 ▲具体的な学校再編計画（統合内容・時期等）の策定段階における各地区との意見交換・協議では、総論から各論的な議論に移るため、様々な意見（賛成・反対）が出されてくることが予測される。それら十人十色の意見を、どのように集約していくのが課題です。

学校区コミュニティの形成	地域との連携・協力により、地域を挙げて次世代を担う児童生徒を育てる体制をつくります。	教育総務課（教育推進室）
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を実施し、その結果について、分析を行うとともに保護者や地域に公開しています。 ・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校運営の改善について検討を重ねています。 ・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。 ・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。 ・児童生徒の安全確保、また、日頃からの見守り体制を構築するため、安心安全サポーター（地域見守り隊）の方々と定期的に情報交換を行っています。 ・各校で教育ミニ集会を開催するなど、次代を担う子供たちのより良い成長について地域の方々と考えています。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○学校便り、ホームページやブログ等により、学校行事や取組内容について、地域等に対し情報発信が図られました。 ▲学校評議員、安心安全サポーター等、学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。	

重点 情報教育環境の整備	「GIGAスクール構想」の実現に向けて整備したICT環境を活用し、効果的な指導・学習を推進します。	教育総務課
【実施状況】	一人一台タブレット端末を始めとしたICT環境を活用した授業や家庭学習を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○ICT機器の利活用により、深い学びを実現できました。ICT支援員を各小中学校へ派遣し、教員への支援やICT機器の管理を行ったため、より効果的な授業・学習を行うことができました。 ▲教員のICT機器の利活用における支援やICT機器の管理には、専門的な知識や技能を要するため、ICT支援員による継続的な支援が必要です。	

第2節 青少年の健全育成強化



■ 基本方針

- 体験講座の開催や青少年育成事業の支援等により、子どもたちの郷土への誇りや愛着心、生きる力をはぐくむための機会を充実させます。
- 地域の人や異学年との関わりの中で、青少年が社会性や規範意識等を身に付け、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進します。

(1) 青少年の健全育成強化

計画事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成体制の充実	P T Aや子ども会、青少年相談員、各種社会教育関係団体の自主的な活動を支援し、青少年の健全育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、ガールスカウト・あわ夢まつり・フラメンコ事業及び青少年相談員による各種活動を実施することができました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○各種事業への補助を実施することにより、児童等に対し様々な体験学習機会を提供することができました。 ▲少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の減少や、地域コミュニティの変化による子ども及び子ども会加入者が減少してきています。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域交流の場の減少や人と人との繋がりが変化している状況でのイベント開催方法等の模索が必要です。	
放課後子供教室の推進	地域の人とともに勉強やスポーツ、文化活動、遊びなど、様々な体験ができる放課後子供教室を実施します。	生涯学習課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いなが、市内全小学校（10校）で余裕教室等を利用し放課後子供教室を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○当初 160 回予定していた教室のうち、96.9%にあたる 155 回の開催ができました。子どもから人気もあり、参加率もよい事業です。 ▲学力向上を視野に入れた学校教育との連携及び学童クラブとの連携が必要です。また、コーディネーターやボランティアスタッフ等の育成及び拡充も併せて必要です。 ▲学校規模（生徒数）による実施回数や必要なスタッフの数等に差が生じています。	

ふるさと体験活動の推進	子どもたちの郷土への誇りや愛着心、「生きる力」をはぐくむため、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。	中央公民館
【実施状況】	・新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策を行い、たてやまワクワク探検隊(ホタル観察会)、沖ノ島探検隊を開催しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○体験活動を通じて、館山の自然の豊かさや良さを認識することができました。 ▲体験メニューがマンネリ化しています。 ▲事業内容が自然体験教室に偏っています。	

第3節 生涯学習の推進



■ 基本方針

- 多種多様な生涯学習機会を提供するため、博物館・図書館・公民館の更なる充実を図ります。
- 市民の自主的な学びやサークル活動を支援するとともに、生涯学習ボランティア制度の活用を通じて、市民の豊富な知識や経験を地域社会に還元してもらうための取組を推進します。

(1) 学習機会の提供

計画事業名	事業内容	担当課
生涯学習講座・教室の開催	豊かな地域資源と様々な情報資源を活用し、多様な学習機会を提供することより、市民の自主的な学習活動を促進します。	中央公民館 図書館
【実施状況】	【中央公民館】 ・成人講座4講座15回、青少年講座5講座33回を開催しました。 ・地区公民館において、地域のニーズに配慮した講座を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて感染症防止対策を行いました。 【図書館】 ・「子ども向け講座」及び「おはなし会」を開催しました。 ・「一般向けの図書館講座」を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、「わらべうたの会」は通年中止としました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	【中央公民館】 ○講座の開催により、市民に対して様々な生涯学習の機会を提供することができました。 ▲人口減少・高齢化により中央公民館・地区公民館ともに参加者が減少しています。	

	<p>【図書館】</p> <p>○講座の実施により、子どもから大人まで、参加者には図書館の利用、役割等について理解してもらい、一定の評価が得られました。</p> <p>▲継続して図書館機能や役割の周知を図るとともに、郷土資料などの図書館資料の利活用や、ボランティアの後継者育成につながるような行事の計画を立案し、実施していく必要があります。</p>
--	---

家庭教育事業の推進	家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上とともに、子育てについての相談窓口及び情報提供の充実により、家庭教育力の向上を図ります。	中央公民館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級の開設支援や子育て支援事業を開催しました。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて人数制限やリモート開催した講座がありました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○家庭教育学級などの事業を通じて、家庭教育力の向上、保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができました。</p> <p>▲家庭や青少年、児童を取り巻く環境の変化への対応が求められています。</p>	

児童サービスの充実	子どもの発達段階に対応した魅力的な書架づくりと、児童と本とを結び付けるきっかけづくりを行うことにより、本の楽しさに触れられる機会を提供します。	図書館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童を対象に、豊かな想像力と語学力が育まれるよう読書支援の一環として、「おはなし会」を35回開催しました。 ・「子ども向け講座」は3回開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、「わらべうたの会」は通年中止としました。 ・図書館を利用しやすくする環境整備として、子連れでも気兼ねなく過ごすことができるようキッズタイムを実施しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○行事を通じ、本と親しむきっかけづくりとしての読書支援や図書館の活用方法など図書館についての理解を促進する機会を提供することができました。</p> <p>▲子どもの知的欲求に応えられるよう、児童の発達段階に応じた資料や幅広い分野の資料を収集し、魅力的な蔵書の構築に努める必要があります。</p> <p>▲事業の参加者を増やすため、児童サービスについての計画的な情報発信を行う必要があります。</p>	

<p>図書館機能の充実</p>	<p>市民の「読みたい」「知りたい」「調べたい」という知的好奇心にこたえることのできる資料を収集・提供するとともに、図書館資料を使つての調査相談（レファレンス）サービスの提供やインターネットによる蔵書検索・予約、図書館システムの利活用による効率的な資料管理により、市民の多様なニーズに対応した資料や情報の提供を行います。</p>	<p>図書館</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、約3か月間の臨時休館がありましたが、令和4年度は例年通り、開館及び移動図書館の巡回を行いました。総所蔵点数及び貸出数は前年度を上回りました。 ・資料の購入や寄贈の受入を行い、利用に供するとともに、利用者への貸出や調査相談（レファレンス）を行いました。 　　<令和4年度> 　　所蔵資料点数 163,786 点 　　資料購入点数 1,128 点 　　資料寄贈受入点数 382 点 　　資料貸出点数 107,355 点 　　レファレンス受付件数 2,008 件 ・図書館システムを用い確実な資料管理に努めるとともに、インターネット検索・予約等で利用者の利便性を図りました。 　　<令和4年度> 　　予約総件数 7,436 件 　　うちインターネット予約件数 4,991 件 ・電子書籍の購入を増やし、いつでもどこでも読書を楽しむことができる電子図書館サービスを行いました。 　　<令和4年度> 　　電子図書購入数 1,931 点 　　電子書籍貸出点数 2,005 点 ・幅広い分野の資料に利用者が触れられるよう、季節や話題の出来事など様々なテーマでの企画展示を行いました。 	
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○新鮮で豊富な資料の提供が可能となり、市民の知的学習活動が活発に展開され、市民の課題解決につなげることができました。</p> <p>▲経年の資料の蓄積により、収蔵能力が限界を迎えているため、図書館システムによる適切な資料管理と更なる除籍作業を進める必要があります。</p> <p>▲図書館資料と利用者をつなぐための司書は、知識を蓄積し、地域事情にも精通していることが必要なため、専門職としての確固たる位置づけと継続的な育成・配置が必要となります。</p>	

(2) 学習活動の支援

計画事業名	事業内容	担当課
サークル活動の支援	新たなサークル参加者を増やすための活動や自主的なサークル活動等に対する専門性を活かした指導、助言等の支援を行い、活動の活性化を図ります。	中央公民館 博物館
【実施状況】	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業を実施しました。 新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策を行いながら、サークルフェスティバルを開催しました。 <p>【博物館】</p> <p>市民サークル「城山古文書会」へ博物館収蔵資料をテキストとして提供し、助言者として学芸員が参加しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】</p> <p>○令和4年度のサークルフェスティバルは4年ぶりに開催しました。 ▲人口減少・高齢化によるサークル参加者の減少への対応が求められています。</p> <p>【博物館】</p> <p>○専門的な助言・指導により、より正確性の高い学習機会を確保し、サークル活動の活性化を図りました。 ▲サークルの自主性や、学芸員の業務量等を考慮しながら、適切な助言・サポートを継続していく必要があります。</p>	

生涯学習ボランティア制度の充実	学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用する仕組みづくりを進めます。また、ミュージアムサポーターを拡充することにより、博物館事業の充実を図ります。	生涯学習課 博物館
【実施状況】	<p>【生涯学習課】</p> <p>市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施しました。</p> <p>【博物館】</p> <p>ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップの作成や、博物館本館でのパネル展示を監修しました。作成したマップは本館で配布するほか、博物館が運営するWEBサイトで公開しています。</p> <p>マップ作成数 3件（里見氏の女性たち、西長田観音院、相浜神社） 館内展示 3回（那古寺、鷹ノ島弁天、崖観音と諏訪神社）</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【生涯学習課】</p> <p>○講座（市：59講座、市民ボランティア18講座）を開設しました。 63回の講座申込があったが緊急事態宣言等により37回を実施し、1,595人の参加がありました。 ▲豊富な知識、経験等を有する市民は潜在していると考えられ、それら人材のより一層の活用が必要です。また、出前講座等、生涯学習に関する市民活動の</p>	

	<p>拡充を図るため、市民の学びの機会を提供する仕組みづくりや利便性の向上に努めることが大事です。</p> <p>【博物館】</p> <p>○豊富な知識、経験等を有する市民に活動の機会を提供し、人材の活用を図りました。</p> <p>○市民による主体的な地域資源の掘り起こしを行い、学習や文化観光に活用しました。</p> <p>▲ボランティアが継続して活動できる環境、体制の整備が必要です。</p>
--	---

第4節 歴史の継承と文化の振興



■ 基本方針

- 寺社、史跡、歴史的建造物、民俗芸能、博物館が収蔵する歴史文化遺産を保存・継承するとともに、それらの活用により、観光やまちづくりなど、地域の活性化につながる取組を進めます。
- 市民自らが、主体的に芸術文化活動ができるように、発表する場の提供や情報提供に取り組んでいきます。

(1) 歴史・文化の保存・継承

計画事業名	事業内容	担当課
郷土に関する展覧会・講座等の充実	歴史文化遺産の展示公開や郷土の魅力を理解する展示・講座の拡充を図ることにより、郷土に対する誇りや愛着心をはぐくむとともに、先人の歩みや地域性を紹介することにより、歴史から学ぶ力を醸成します。	博物館 中央公民館
【実施状況】	<p>【博物館】</p> <p><常設展示></p> <p>本館：館山、安房地方の歴史と民俗 分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活 館山城（八犬伝博物館）：南総里見八犬伝の世界</p> <p><企画展示> ※会場はいずれも博物館本館</p> <p>① 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」入館者11,683人 ② 収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々」入館者12,064人 ③ 新・地区展「館山—城と湊のまち—」入館者9,250人 ④ 企画展「供養する人々」入館者9,523人</p> <p><教育普及事業></p> <p>① 歴史教室「古文書を読んでみよう」4クラス×全8回 受講生114人 ② 歴史教室「活弁八犬伝」全2回 参加者のべ25人 ③ 歴史教室「わたしの町の歴史探訪—上真倉・下真倉—」参加者25人 ④ 博物館・図書館合同講座「なつやすみ宿題大作戦」 全2回 参加者のべ12人 ⑤ 収蔵資料展解説会 全3回 参加者のべ62人 ⑥ 新・地区展解説会 全2回 参加者のべ45人 ⑦ 企画展解説会 全2回 参加者のべ46人 ⑧ 収蔵資料解説会 全2回 参加者のべ21人</p> <p>昔のくらし解説 豊房小学校 外4校 受講者149人</p> <p>【中央公民館】</p> <p>・一般市民を対象にした「ふるさと講座」については、地域の歴史や文化、自</p>	

	<p>然をテーマとした講座を8回開催しました（新型コロナウイルス感染症の影響により人数制限を行いました）。</p> <p>・「安房地区公民館連携講座」（安房郡市3市1町）は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加定員を25人から15人に制限し、2回開催しました。</p>
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>【博物館】</p> <p>○資料収集、調査研究の成果を展示や講座等で市民に還元し、新たな地域情報を発信できました。</p> <p>○常設展のみでは紹介しきれない収蔵資料やテーマを企画展で取り上げ、郷土を深く知る手がかりを提供しました。</p> <p>○教育普及事業の実施により市民等に学習機会を提供し、地域への理解や愛着を醸成しました。</p> <p>○展示会場における解説会のほか、市公式YouTubeチャンネル上で、学芸員による企画展等の解説動画を配信しました。</p> <p>▲企画展の実施により、新たなテーマの掘り起こしや資料の活用、市民への普及を継続していくことが必要です。</p> <p>▲展示解説会の動画公開やデジタルアーカイブの充実など、インターネットの活用による利便性向上を進めることが必要です。</p> <p>▲現在の講座を継続しつつ、指定管理者自主事業等との協働も視野に入れ、より多くの市民に学習機会を提供していく必要があります。</p> <p>【中央公民館】</p> <p>○「ふるさと講座」に参加し、郷土に関する知識を得たことで、参加者の「ふるさとへの愛着」が育まれました。</p> <p>▲人口減少・社会情勢に配慮した講座が求められています。</p> <p>▲人口減少・高齢化により、市の枠組みを超えた連携が必要です。</p>

郷土資料の収集・保存と提供	<p>歴史・文化など地域資源の情報発信や地域課題の解決という視点から、郷土資料の収集・保存と情報提供機能の充実を図ります。</p>	博物館 図書館
【実施状況】	<p>【博物館】</p> <p>令和4年度 新規収蔵資料 1,663点</p> <p>令和4年度 資料特別利用 108件（調査研究・出版物掲載・テレビ取材・展示・その他）</p> <p>【図書館】</p> <p>・図書を中心に、館山・安房地域にゆかりのある作家の著作や歴史・伝統文化に関する資料や行政資料などの郷土資料の収集・整理・提供を行いました。貸出点数は前年を大幅に上回りました。</p> <p><令和4年度></p> <p>郷土資料所蔵点数 7,921点</p> <p>郷土資料貸出点数 3,623点</p>	
【成果と課題】	<p>【博物館】</p> <p>○様々な社会状況により歴史的な資料が滅失する中で、市民等からの寄付を中</p>	

	<p>心に多くの地域資料を収集できました。</p> <p>○WEBサイトを活用したデジタルアーカイブ等の公開により、資料利用を促進できました。</p> <p>▲実物資料の収集にあたっては、収蔵スペースの有効活用と拡大が必要です。</p> <p>▲地域資料は所有者の関心の低下や建物の取壊しにより廃棄の可能性が高く、収集・保存の重要性について、市民の理解、協力を得られるようさらなる情報発信が必要です。</p> <p>【図書館】</p> <p>○一般流通していない郷土資料や行政資料についても、寄贈により収集を行いました。</p> <p>▲郷土の歴史を未来に伝えていくために、継続的な郷土資料収集・保存を行い、利活用を図りながら継承していく必要があります。</p> <p>▲館山市図書館のみが保有する資料のデジタル化を検討する必要があります。</p> <p>また、デジタル化した資料を電子図書館に登録し、貴重な資料を広く閲覧できるよう整備していく必要があります。</p> <p>▲ボランティアの協力により、資料の修復・維持に努めていますが、後継者の育成が課題です。</p>
--	---

博物館機能の充実	博物館本館、館山城、渚の博物館それぞれの特色を活かした効率的な運営方法を検討します。また、指定管理者との連携・協働を推進します。	博物館
【実施状況】	<p><指定管理者による運営></p> <p>本館、八犬伝博物館（館山城）、渚の博物館等における一部の業務について、指定管理者による運営を実施しました。</p> <p>指定管理者 株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫</p> <p>期間 令和元年12月1日～令和6年11月30日</p> <p>延長条件により更に5年間の期間延長可</p> <p><施設設備の維持管理></p> <p>老朽化や故障に対応し、施設設備の修繕を実施しました。</p> <p>館山城4階展望室爆裂補修工事 451,000円（税込）</p> <p>本館し尿浄化槽放流ポンプ改修 192,500円（税込）外5件 計1,493,250円</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策></p> <p>① 設備導入</p> <p>（国）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業により、新型コロナウイルス感染予防対策として次の機器を導入しました。</p> <p>顔認証型検温機 2台（本館1台・館山城1台）</p> <p>空気清浄機 12台（本館9台・館山城3台）</p> <p>② 入館者対応</p> <p>受付時の検温、手消毒、受付カウンターシールド設置</p> <p>講座等における密集を避けた運営（1人掛け机の使用）</p> <p>展示ケース等の消毒</p>	

<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p><指定管理者による運営> ○指定管理者による以下の業務と連携を図り、より魅力的な施設とするため適正な管理運営を実施しました。 本館 …受付業務 館山城 …受付業務、施設運営業務、維持管理業務の一部 渚の博物館…受付業務 ○館山城において指定管理者自主事業による企画展示、イベント等が開催されました。 事業名 「館山城写真展」 「南総里見八犬伝浮世絵展」 「目で楽しむ南総里見八犬伝」 「館山城開館40周年フェスティバル・記念式典」 「謎解きゲーム 復刻版館山城を救え」 ▲行政と指定管理者の密接な連携により、魅力ある城山公園エリアの創生を図ります。 <施設設備の維持管理> ○施設設備の延命化と適正な機能保全に努めました。 ▲施設等の老朽化が進む中、適正な維持管理を実施し、博物館入館者に対し快適な空間、環境を提供することが必要です。 ▲国指定重要有形民俗文化財を保管する渚の博物館収蔵庫を、適切に維持、管理することが必要です。 <新型コロナウイルス感染症対策> ○入館者受付時、施設管理において対応策を講じました。 ▲博物館においては、展示品の保全の観点から、十分な換気対策が困難な場合があります。</p>
--------------------------------	---

<p>文化財の保存・活用</p>	<p>文化財の調査・指定により、修復や防災対策等、保存に必要な措置を計画的に行います。また、活用を図るため、広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>文化財の案内看板を設置したほか、文化財周辺の環境整備を行いました。また、文化庁の補助事業を活用し、各地区が実施した祭礼道具の修理に対し助言を行いました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○看板の設置により文化財の周知が図られました。また、文化財周辺の環境整備を行い、文化財の適切な保存と来訪者への理解が深められました。 ▲国・県・市の指定文化財や登録文化財を合わせると 100 箇所以上となるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。</p>	

観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	寺社、戦国大名里見氏、青木繁「海の幸」、近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人の歴史学習を推進するとともに観光やまちづくりに活かします。	生涯学習課
【実施状況】	文化財の案内看板を設置したほか、文化財周辺的环境整備を行いました。また、文化庁の補助事業を活用し、各地区が実施した祭礼道具の修理に対し助言を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○看板の設置により文化財の周知が図られました。また、文化財周辺的环境整備を行い、文化財の適切な保存と来訪者への理解が深められました。 ▲国・県・市の指定文化財や登録文化財を合わせると100箇所以上となるため、巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。	

民俗芸能伝承者の育成	民俗芸能大会への出演支援や継承のための映像記録作成により、伝承者の育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	民俗文化財の状況把握に努めました。なお、新型コロナウイルス感染の拡大により民俗芸能の実施が困難となっています。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○国県等の補助金を活用した各団体の取り組みへの支援を行いました。 ▲少子高齢化やライフスタイルの変化により伝承者が減少し、後継者育成が難しくなっています。また、活動を続けるうえでの資金が不足しています。なお、新型コロナウイルス感染の拡大により民俗芸能の実施が困難となっています。	

国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。	生涯学習課
【実施状況】	地域と連携し、保存管理を行いました。また、南房総市と連携し、里見氏城跡の整備・活用の検討を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○地元稲区への管理委託により、史跡の適切な保存管理が図られました。 ▲史跡として整備していくためには権利関係の整理が必要です。また、南房総市にある国史跡岡本城跡との連携した整備も必要となります。	

歴史・文化情報の発信強化	館山市の歴史・文化に関する情報を、博物館が運営するWEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」において発信し、地域の魅力発信に努めます。また、文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に博物館収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった南総里見八犬伝、戦国大名里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開します。	博物館
【実施状況】	・博物館が調査、収集した地域の歴史・民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」公開することで、館山の魅力を広く発信しました。 ・文化庁「文化遺産オンライン」を活用し、収蔵資料の一部を公開しています。	

	<p>・学芸員による企画展解説動画を市公式YouTube（市HP）で公開しました。</p> <p>たてやまフィールドミュージアム閲覧者数 32,670人</p> <p>ページビュー数 89,413回</p>
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○調査研究や企画展の成果をインターネット上で公開することで、利用者層の拡大、利便性の向上を図りました。</p> <p>▲継続的な情報発信のため、資料データベースの更新、維持管理が必要です。</p>

（２）文化の振興

計画事業名	事業内容	担当課
芸術文化活動の充実	「館山市文化祭」や「館山市サークルフェスティバル」など、芸術文化活動の発表の場を提供し、市民の自主的な活動を支援します。	生涯学習課
【実施状況】	市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、音楽鑑賞協会・芸術文化協会・茶道連盟の活動に対する支援を行っていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となりました。	
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○多くの事業の中止のなか、茶道連盟による月釜3回の開催のみとなりましたが、114名が来場されました。</p> <p>▲館山市芸術文化協会、館山音楽鑑賞協会、館山市茶道連盟、公民館等のサークル活動が行う自主的な文化活動を支援し、優れた芸術文化への鑑賞機会の提供や市民の生きがいづくりに努めているところですが、各団体の高齢化により会員の固定化、会員が減少しており、団体組織の活性化が喫緊の課題となっています。</p>	

全国大学フラメンコフェスティバルの開催	館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」のイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口・関係人口の拡大を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	関係団体との協議により、事業方針の見直し（委託から補助）がされ、館山商工会議所青年部が主体となった実行委員会により事業が実施されました。	
<p>【成果と課題】</p> <p>〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○花火大会の開催に合わせ、「花火とフラメンコ」として事業を実施し、多くの来訪者に学生によるフラメンコを披露することができました。</p> <p>▲学生の参加者が年々減少していく傾向にあり、また、特定の関係者の尽力により維持している部分もありますので、主要メンバーの変更や、学生の参加状況の変化等により、開催できる内容・規模等の検討が必要です。</p>	

第5節 スポーツの振興によるまちづくり



■ 基本方針

- 市民が生涯を通じてスポーツに触れ合う機会を拡充し、市民の健康維持や活力ある社会の実現を目指します。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会によるレガシー（遺産）を見据えたまちづくりを推進します。
- 時代に合ったスポーツ観光を推進し、スポーツによる交流人口・関係人口の拡大を目指します。

（1）市民スポーツの振興

計画事業名	事業内容	担当課
生涯スポーツの機会提供	「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	昨年に引き続き、「ロゲイニング大会」などのイベントを開催しました。また、市内3か所にラン&ウォーク用の路面シートや看板を整備・活用し、市民の健康・体力向上を図ることができました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、スポーツイベントを再開し、市民一人ひとりの健康・体力の保持増進を図ることができました。 ▲スポーツ無関心層に対する、運動・スポーツの実施、習慣化に係る取り組みにより、健康・体力向上を図る必要があります。	
社会体育団体の育成支援	社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康・体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。	スポーツ課
【実施状況】	館山市スポーツ協会（24団体・会員約3,800人）、館山市スポーツ少年団（20団体・団体329人・指導者84人）へ補助金を交付し、活動を支援しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○館山市スポーツ協会及び館山市スポーツ少年団の活動を通じて、生涯スポーツ、競技スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与することができました。 ▲少子高齢化により、団員数が減少傾向となっており、今後の各団体の継続、存続が困難な状況が見受けられます。	

社会体育施設の整備充実	生涯スポーツの推進のため、既存体育施設の適切な維持管理・整備を行い、利用者の利便性・安全性の確保に努めます。	スポーツ課
【実施状況】	<p>施設の適切な維持管理、整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営市民運動場マラソン倉庫シャッター修繕 ・市営出野尾多目的広場夏芝切替え ・市営出野尾多目的広場冬芝切替え ・市営市民体育館南側軒天及び外壁改修工事 ・市営市民体育館バスケットゴール撤去工事 ・市営 25m 室内温水プール ボイラー補水タンクフロートスイッチ修理 ・市営 50 メートルプールろ過装置修繕 <p><新型コロナウイルス対策費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営市民体育館トイレ器具非接触化改修工事 <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者による消毒作業などの感染対策を行い、施設の適切な運用と利用者の安全確保に努めました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○施設の維持管理、整備、新型コロナウイルス感染症対策を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりを行いました。</p> <p>▲施設の老朽化が進む中、計画的に修繕や改修を行い、安全性を確保していく必要があります。</p>	

学校体育施設の開放	小・中学校の体育館・グラウンド・プール等を市民に開放し、市民の健康増進や体力づくり、地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動を推進します。	スポーツ課
【実施状況】	新型コロナウイルス感染症の対策を図ったうえで、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して、小学校9校及び中学校3校の体育館・グラウンド・武道館の開放事業を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○学校体育施設の開放により、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツを推進しました。</p> <p>▲学校体育施設の利用に当たって、喫煙などの利用マナーについて徹底していく必要があります。</p>	

(2) スポーツ観光の推進

計画事業名	事業内容	担当課
<p>重点</p> <p>オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を活かしたまちづくり</p>	<p>観光施策と融合したスポーツ観光を推進し、館山湾をはじめとする自然環境や既存体育施設等の有効活用により、対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。また、市民のスポーツへの関心を高め、健康増進や体力づくり、競技力の向上に努めます。さらに、事前キャンプの実績を、館山の良好な自然環境と関連付け、来訪者向けに情報発信していきます。</p>	スポーツ課

【実施状況】	<p>民間企業主催のサイクルイベントの開催や日本トライアスロン連合による強化合宿などが行われました。</p> <p>また、スポーツ人口拡大に貢献する「Sports in Life 推進プロジェクト」への取り組みが評価され、自治体部門で表彰を受けました。</p>
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○オランダトライアスロン競技の事前キャンプ地となったことにより、トライアスロン競技者のトレーニング適地として評価されました。</p> <p>また、パラリンピックの正式種目でもある、「ボッチャ」の大会を開催するなど、ユニバーサルスポーツを開催し、市民への関心も高めることができました。</p> <p>▲トライアスロン競技のトレーニング適地、館山へ訪れてもらえるように、SNSを活用し、情報発信をすることにより、さらなる交流人口の拡大に繋げていく必要があります。</p>

館山若潮マラソン大会の 魅力向上	<p>大会環境の向上とスポーツボランティアの育成・拡大に努め、大会参加者・地域住民などのニーズを可能な限り反映した大会を実施します。</p>	スポーツ課
【実施状況】	3年振りに通常開催として、大会を開催しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○新型コロナウイルス感染症対策として、入場規制などの制限を設けた中での開催となりましたが、約6千名の参加者、約1千名の競技役員・ボランティアと共に無事開催することができました。</p> <p>▲コロナ禍における、マラソン離れも見られ、エントリー件数の回復を図るために、魅力ある大会をPRしていく必要があります。</p>	

スポーツイベントの開催	<p>自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。</p>	スポーツ課
【実施状況】	<p>「館山わかしおトライアスロン」の再開や館山市スポーツ推進委員と共催の「サンセットウォーキング、私の体カチェック、ボッチャ大会」などの各種イベントを開催しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○各種スポーツイベントの再開により、交流人口の拡大、市民の健康の維持、増進に寄与することができました。</p> <p>▲さらなる交流人口に繋がるように、魅力ある大会をPRしていく必要があります。また、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要です。</p>	